

令和3年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

資料1

(経済産業部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定					特記事項	担当課		
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点							
						上段：前回又は着手時	下段：今回											1事業のみ	①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模			④事業費変更等	選定結果
						上段：前回又は着手時	下段：今回																		
1	静岡県	生産基盤整備事業(畑地帯総合整備事業)	おもとす重須	沼津市	H23(当初)	H23~R3	974	974	-	B/C: 1.78	・農道の事業量増等により、全体事業費が増加した。全体事業費の増額により、完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	・農道の整備により通作、輸送の利便性が大幅に高まり、営農の継続、耕作放棄地の解消が図れている。農業用水の早期供用を目指し水路工の整備を進め、防除作業のさらなる効率化を図るとともに、事業の早期完成を目指す。	○	-	-	-	○	◎	国 50% 県 30% 地元 20%	農地整備課		
					R3(今回)	H23~R5 (+18.2%、2年延伸)	1,709 (+74.5%、735増)	1,297	75.9%	B/C: 1.46 EIRR: 5.3%															
2	静岡県	農村整備事業(中山間地域総合整備事業)	まつぎ松崎	松崎町	H23(当初)	H23~H28	629	629	-	B/C: 1.33	・区画整理工の追加により、全体事業費が増加した。全体事業費の増額により、完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	・農業生産基盤整備により農業の生産性が向上し、営農が継続されている。特産物である桜菜等の経営面積の拡大、農業と観光が連携した「ふるさと観光」の推進による地域活性化を図るため、事業の早期完成を目指していく。	○	-	-	-	○	◎	国 55% 県 30% 地元 15%	農地保全課		
					R3(今回)	H23~R6 (+133.3%、8年延伸)	1,061 (+68.7%、432増)	768	72.4%	B/C: 1.4 EIRR: 8.1%															
3	静岡県	農地保全事業(農村災害対策整備事業)	ふくひのむがし袋井東	袋井市	H23(当初)	H23~H28	757	757	-	B/C: 1.22	・排水路及び遊水池工の軟弱地盤対策により、全体事業費が増加した。全体事業費の増額により、完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	・地元住民主催の「袋井市東部地域治水対策促進協議会」から強く早期完成が望まれている。本事業により漏水被害が軽減されることで、安定した農業経営が図られるとともに「ふじのくに美園プロジェクト」等の地域活動により地域全体の活性化も期待できることから事業の継続が妥当と判断する。	○	-	-	-	○	◎	国 50% 県 35% 地元 15%	農地保全課		
					R3(今回)	H23~R5 (+116.7%、7年延伸)	1,661 (+119.4%、904増)	1,497	90.1%	B/C: 1.19 EIRR: 5.8%															

(交通基盤部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定					特記事項	担当課		
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点							
						上段：前回又は着手時	下段：今回											1事業のみ	①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模			④事業費変更等	選定結果
						上段：前回又は着手時	下段：今回																		
4	静岡県	道路改良事業	いっぽんどうふじゆい一般県道富士由比線(新々富士川橋)	富士市	H28(前回)	H14~R3	11,000	1,850	16.8%	B/C: 2.0	-	◎	◎	継続	・交通渋滞の慢性化により地域の生活や経済活動に大きな支障をきたしており、新たな橋梁の整備は地元も期待も大きく、さらに事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	○	-	○	-	◎	国 55% 県 45%	道路整備課		
					R3(今回)	H14~R5 (+10%、2年延伸)	13,000 (+18%、2,000増)	12,340	94.9%	B/C: 1.6 EIRR: 6.7%															
5	静岡県	道路改良事業	いっぽんどうふじゆい一般県道山梨一宮線	森町	H29(当初)	H29~R6 (+60%、3年延伸)	950	-	-	B/C: 2.7	-	◎	◎	継続	・地元の期待も大きく、事業の投資効果も見込まれ、関係機関の調整が順調など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 50% 県 50%	道路整備課		
					R3(今回)	H29~R8 (+25.0%、2年延伸)	950 (変更なし)	132	13.9%	B/C: 2.6 EIRR: 10.6%															
6	静岡県	広域河川改修事業	にせのかわおたがわ二級河川太田川(太田川下流工区)	磐田市袋井市	H28(前回)	H14~R3	11,700	7,702	65.8%	B/C: 43.0	-	◎	◎	継続	・近年、集中豪雨の頻発化により、必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込まれることから、事業を継続する。	-	-	-	○	-	◎	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R3(今回)	H14~R7 (+20%、4年延伸)	11,700 (変更なし)	9,661	82.6%	B/C: 12.2 EIRR: 68.6%															
7	静岡県	侵食対策事業	はままつしほらからいん浜松原海岸	浜松市	H23(前回)	H18~H27	2,067	1,727	83.6%	B/C: 4.3	・H28の事業休止以降の海岸侵食に伴い養浜事業の再開が必要となった。・養浜の事業期間延長に伴い、全体事業費が増えた。	◎	◎	継続	・近年、海岸侵食が急激に進行したことにより、早急な対策が求められており、さらに事業の投資効果も見込まれ、関係機関との調整が順調など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	○	◎	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R3(今回)	H18~R8 (H28~R2は休止) (+60%、6年延伸)	3,699 (+79%、1,632増)	2,449	66.2%	B/C: 3.3 EIRR: 6.3%															
8	静岡県	通常砂防事業	こうちまねがわ河内諏訪沢	下田市	H29(当初)	H29~R3	246	-	-	B/C: 7.7	・用地取得に不測の日時を要したことに伴い、完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や神社(避難場所)等の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	○	◎	国 50% 県 50%	砂防課		
					R3(今回)	H29~R7 (+80%、4年延伸)	307 (+25%、61増)	66	21.5%	B/C: 4.7 EIRR: 23.2%															
9	静岡県	通常砂防事業	おんかづの御神川	西伊豆町	H29(当初)	H29~R3	140	-	-	B/C: 6.0	・地質が想定以上に脆弱で基礎地盤の改良が必要となり、事業費が増大した。	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や国道(緊急輸送路)等の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	○	◎	国 50% 県 50%	砂防課		
					R3(今回)	H29~R5 (+40%、2年延伸)	200 (+43%、60増)	122	61.0%	B/C: 3.8 EIRR: 16.3%															
10	静岡県	通常砂防事業	かんべえきわ勘兵衛沢	静岡市	H29(当初)	H29~R3	200	-	-	B/C: 47.4	・地質が想定以上に脆弱で基礎地盤の改良が必要となり、事業費が増大した。・増工に伴い完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や国道(緊急輸送路)等の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	○	◎	国 50% 県 50%	砂防課		
					R3(今回)	H29~R6 (+60%、3年延伸)	470 (+135%、270増)	181	38.5%	B/C: 15.0 EIRR: 93.0%															

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定						特記事項	担当課					
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点											
						上段: 前回又は着手時	下段: 今回											上段: 当初または前回	下段: 今回	上段: 当初または前回	下段: 今回	1事業のみ			①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	選定結果
						上段: 今回	下段: 今回											上段: 今回	下段: 今回	上段: 今回	下段: 今回								
11	静岡県	通常砂防事業	わのかみきわ子ノ上沢	焼津市	H29(当初)	H29~R4	470	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 3.6	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や東海道本線(重要交通網)等の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	○		国 県	50% 50%	砂防課				
					R3(今回)	H29~R7(+50%、3年延伸)	470(変更なし)		182	38.7%	B/C: 2.1 EIRR: 6.7%																		
12	静岡県	通常砂防事業	いしづからむ芋蔵寺沢	浜松市	H29(当初)	H29~R3	130	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 27.1	-	◎	◎	継続	・測量の結果、堰堤下流の法面処理の範囲が拡大したことに伴い、事業費が増大した。	-	-	-	-	○		国 県	50% 50%	砂防課				
					R3(今回)	H29~R5(+40%、2年延伸)	230(+77%、100増)		146	63.5%	B/C: 6.8 EIRR: 34.5%																		
13	静岡県	通常砂防事業	どいどみなみかわ土井戸南沢	浜松市	H29(当初)	H29~R3	120	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 7.3	-	◎	◎	継続	・地質が想定以上に脆弱で、法面対策が必要となり、事業費が増大した。	-	-	-	-	○		国 県	50% 50%	砂防課				
					R3(今回)	H29~R5(+40%、2年延伸)	160(+33%、40増)		142	88.8%	B/C: 5.7 EIRR: 28.0%																		
14	静岡県	通常砂防事業	なかやまがしほんおくさわ中山川支川奥沢	浜松市	H17(当初)	H17~H21	200	事業採択(H17)後5年が経過(休止期間除く)	-	-	B/C: -	-	◎	◎	継続	・用地問題で事業を休止していたが、地権者の承諾が得られたため再開した。	-	-	-	-	○		国 県	50% 50%	砂防課				
					R3(今回)	H17~H19 R2~R6(+60%、3年延伸)	244(+22%、44増)		72	30.0%	B/C: 2.2 EIRR: 12.5%																		
15	静岡県	地すべり対策事業	たいらの平野	浜松市	H29(当初)	H29~R5	200	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 5.1	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や県道(緊急輸送路)の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 県	50% 50%	砂防課				
					R3(今回)	H29~R5(変更なし)	200(変更なし)		116	58.0%	B/C: 5.1 EIRR: 13.6%																		
16	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	よこたきゅうめい横田久命	松崎町	H28(前回)	H19~H30	484	再評価実施(H28)後5年が経過	432	89.4%	B/C: 1.8	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や県道の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	○		国 県 町	45% 45% 10%	砂防課				
					R3(今回)	H19~R4(+33%、4年延伸)	604(+25%、120増)		528	87.4%	B/C: 3.4 EIRR: 12.2%																		
17	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	かきまの沢No.2	静岡市	H29(当初)	H29~R3	440	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 1.3	-	◎	◎	継続	・工事用道路について地元調整に不測の日時を要し、完了年度を延伸した。	-	-	-	-	○		国 県 市	45% 45% 10%	※評価調書の作成は省略 砂防課				
					R3(今回)	H29~R6(+60%、3年延伸)	462(+5%、22増)		147	31.7%	B/C: 3.5 EIRR: 13.4%																		
18	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	くさのやぶ谷	静岡市	H28(前回)	H24~R3	422	再評価実施(H28)後5年が経過	187	44.3%	B/C: 3.8	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や病院の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 県 市	45% 45% 10%	※評価調書の作成は省略 砂防課				
					R3(今回)	H24~R5(+20%、2年延伸)	422(変更なし)		341	80.8%	B/C: 12.3 EIRR: 57.7%																		
19	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	まりこいにり丸子井尻	静岡市	H29(当初)	H29~R7	411	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 6.4	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や市道の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 県 市	45% 45% 10%	※評価調書の作成は省略 砂防課				
					R3(今回)	H29~R9(+22%、2年延伸)	381(-7%、30減)		138	36.2%	B/C: 16.2 EIRR: 81.2%																		
20	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	まりこあめがや丸子赤目ヶ谷B	静岡市	H28(前回)	H24~R3	400	再評価実施(H28)後5年が経過	128	32.0%	B/C: 5.7	-	◎	◎	継続	・地元調整に伴い事業範囲を追加した結果事業費が増大した。	-	-	-	-	○	◎		国 県 市	45% 45% 10%	砂防課			
					R3(今回)	H24~R7(+40%、4年延伸)	546(+37%、146増)		347	63.6%	B/C: 9.5 EIRR: 47.1%																		
21	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	たまり湧水	掛川市	H29(当初)	H29~R4	199	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 2.2	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、人家や公会堂(避難場所)の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 県 市	40% 40% 20%	砂防課				
					R3(今回)	H29~R4(変更なし)	235(+18%、36増)		165	70.2%	B/C: 4.3 EIRR: 19.2%																		
22	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	しもひらた下平田	浜松市	H29(当初)	H29~R3	286	事業採択(H29)後5年が経過	-	-	B/C: 1.4	-	◎	◎	継続	・地質が想定以上に脆弱で、アンカー工を追加した結果事業費が増大した。	-	-	-	-	○		国 県 市	47.5% 47.5% 5%	砂防課				
					R3(今回)	H29~R5(+40%、2年延伸)	355(+38%、97増)		234	65.9%	B/C: 2.4 EIRR: 10.5%																		

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要		再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定の視点					特記事項 事業費負担割合	担当課				
					評価時期	計画期間		全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	1事業のみ	選定の視点					選定結果			
						上段: 前回又は着手時 下段: 今回												上段: 前回又は着手時 下段: 今回	上段: 前回又は着手時 下段: 今回	①社会的 注目度等				②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等
23	静岡県	高潮事業	おまえまきこうかいがら 御前崎港海岸	御前崎市 牧之原市	H28 (前回)	H19~R4	2,681	再評価実施 (H28)後 5年が経過	1,293	48.2%	B/C: 4.7	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、令和3年度より新規補助事業として採択されるなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	○	○	○	◎	国 50% 県 50%	港湾整備課			
					R3 (今回)	H19~R12 (+50%、8年延伸)	7,784 (+190%、5,103増)		2,014	25.9%	B/C: 1.7 EIRR: 6.4%															
24	静岡県	高潮事業	といこさいがら 土肥港海岸	伊豆市	H28 (前回)	H15~R4	2,068	再評価実施 (H28)後 5年が経過	814	39.4%	B/C: 5.6	◎	◎	継続	・近年、推進計画の策定や警戒区域の指定により、地元の期待も大きい。さらに、事業の投資効果も見込まれ、観光、環境、防災のバランスがとれたまちづくりの実現に向けた地域住民との合意形成を図っているなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 50% 県 50%	港湾整備課			
					R3 (今回)	H15~R11 (+35%、7年延伸)	2,068 (変更なし)		814	39.4%	B/C: 7.8 EIRR: 11.2%															
25	静岡県	高潮事業	はらけさかいがら 椋原港海岸	牧之原市	H29 (当初)	H29~R7	987	事業採択 (H29)後 5年が経過	-	-	B/C: 6.2	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的であり、関係機関との調整も順調であるなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 50% 県 50%	港湾整備課			
					R3 (今回)	H29~R7 (変更なし)	987 (変更なし)		450	45.6%	B/C: 5.5 EIRR: 17.4%															
26	静岡県	廃棄物処理施設等整備事業	しみずこ 清水港	静岡市	H28 (前回)	S50~R4	10,105	再評価実施 (H28)後 5年が経過	9,905	98.0%	B/C: 1.1	◎	◎	継続	・近年、港内の水深確保の必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、関係機関の調整が順調など、今後の進捗が見込まれることから事業を継続する。	-	-	-	○	-		国 33% 県 67%	港湾整備課			
					R3 (今回)	S50~R13 (+19%、9年延伸)	10,105 (変更なし)		9,905	98.0%	B/C: 1.0 EIRR: 4.1%															
27	静岡県	街路整備事業	とつかいどうほんせん JR東海道本線 + てんぼほせん JR御殿場線 ぬまづまきさきんれんせき 沼津駅付近連続 りつたにうきじぎょう 立体交差事業	沼津市	H28 (前回)	H15~R12	78,700	再評価実施 (H28)後 5年が経過	2,887	3.7%	B/C: 1.2	◎	◎	継続	・近年、駅周辺では土地区画整理事業や市街地整備事業などにより新しいまちなみが形成されつつあるものの、交通渋滞や南北市街地の分断等の課題の解決には至っておらず、事業の早期完成が期待されている。貨物駅移転先用地取得が完了し、高架本体用地の取得、工事着手に向けた鉄道事業者との協議も進んでおり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	○	-	○	-	◎	国 55% 市 22.5%	街路整備課			
					R3 (今回)	H15~R16 (+14%、4年延伸)	78,700 (変更なし)		5,210	6.6%	B/C: 1.1 EIRR: 4.6%															
28	静岡県	街路整備事業	としけいかくどうろ 都市計画道路 しだちゅうおうかんせん 志太中央幹線	藤枝市	H28 (前回)	H24~R4	2,392	再評価実施 (H28)後 5年が経過	958	40.0%	B/C: 2.2	◎	◎	継続	・地元の期待も大きく、用地買収や工事も順調に進捗しており、費用対効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 50.0% 県 35.0% 市 15.0%	街路整備課			
					R3 (今回)	H24~R5 (+10%、1年延伸)	2,329 (-3%、63減)		1,870	80.3%	B/C: 2.7 EIRR: 9.6%															
29	静岡県	街路整備事業	としけいかくどうろ 都市計画道路池新 んでのめりおとろい なまやま 田中央線(中町工 区)	御前崎市	H29 (当初)	H29~R5	1,360	事業採択 (H29)後 5年が経過	0.00	0.00	B/C: 1.3	◎	◎	継続	・用地買収や工事も順調に進捗しており、費用対効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-		国 55.0% 県 30.0% 市 15.0%	街路整備課			
					R3 (今回)	H29~R5 (変更なし)	1,586 (+17%、226増)		1,324	83.4%	B/C: 1.1 EIRR: 4.7%															

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×

○代表説明事業選定の視点

- ・以下の点に基づき代表箇所を選定する。
- ・なお、①、②に該当する場合には、複数となっても必ず選定する。
 - ① 社会的に注目されている、課題が大きいなどの箇所(B/C<1など)
 - ② 事業計画を変更または中止する箇所
 - ③ 事業規模が大、事業期間が長い箇所
 - ④ 計画時又は前回再評価時と著しく事業費・計画期間、効果が異なった箇所
(事業費は3割を超えて増加している場合、計画期間は5割を超えて延長している場合など)